



第四回大會に際して

中央執行委員長 安部磯雄

社會民衆黨結黨以來既に五年迄経過したが、私共の通過して來た道が正しかつたがために、幸、今日
 は無産政黨の内の最も代表的なるものとなるべきことが出来たのである。このことは全國の黨員の努力が
 然らなれども、その間の事情をよく研究して行つたならば、吾黨の勢力が増大して來たことは自惚れ
 てはならないと思ふ。その間の事情をよく研究して行つたならば、吾黨の勢力が増大して來たことは自惚れ
 は單に既成政黨が餘り國民の信頼を裏切る様な行爲が著しなかつたため、反動があるかも知れない。或
 し果してそうであつたならば、私共の力によるものではないこととなる。果して事實に於て、私共の實力
 であるかどうかは、無産階級の信頼をかり得るに足るだけの内容をもつ様に、最大の努力を拂ふことを
 忘れたらならぬ。一般無産階級の信頼をかり得るに足るだけの内容をもつ様に、最大の努力を拂ふことを
 私共は大衆に向つて信頼を要求する前に私共自身を充分潔癖に内省して見なければならぬ。社會民
 衆黨の運動は個人利益慾望を犠牲にして大衆協同の全體の利益を促進することを目指す。果して
 私共は實際問題に當つて個人の慾望を常の如く捨て、ある種の真誠な氣持をもつて、自らの修養に
 努めてゐるならば、これ等の諸點に就て充分なる自信を得ないものであつても、要は唯それに向つて出
 る限りの努力だけでは、永遠に満足な自信を得ないものである。私共は互に自から深く内省する所がなけれ
 ば、既成政黨は何れの黨を問はず今日既に國民の信頼を失つてゐる。民衆は何は信頼しようとしてゐるの
 であるか。私共がこの民衆の信頼をかり得られなかつたとすれば、私共の社會は暗黒になる許りであるの
 私共の責任は極めて重大である。第四回大會を迎ふるに當り私共は互に自から深く内省する所がなけれ